

MyACT活用 マニュアル

JL1NIE
@jllnie

MyACTをつかって SOTA/POTAを楽しもう

MyACTは国土地理院地図にSOTA日本支部の全サミット
POTA全公園をマッピングした電子地図サイトです。
SOTA/POTAをサポートするさまざまな機能を提供します。



for アクティベータ

地図をクリックすると住所・緯度経度・標高の他にJCC/JCGコードやグリッドロケータ、マップコードを表示します。またGoogleマップや天気予報サイトWindy.comとも連携しアクティベーション計画を支援します。アクティベーション時にはスマホのGPSを使って現在地を表示。現在地がSOTAアクティベーションゾーン・POTA公園領域内か、すぐに把握することができます。



for チェイサー/ハンター

公式サイトから配信されるスポット情報を集め、時系列で見やすく表示します。スポット情報と地図が連動するのでアクティベーション先のサミットや公園がすぐにわかります。さらにPOTAのログをアップロードするとアクティベーション・ハント済みの公園を表示。山名・公園名・リファレンスコードの全文検索ができる検索窓では入力内容から自動的に検索結果を絞り込みます。またHF帯の伝搬に重要な地磁気の状態を表す指数、A値・K値をリアルタイムで表示します。

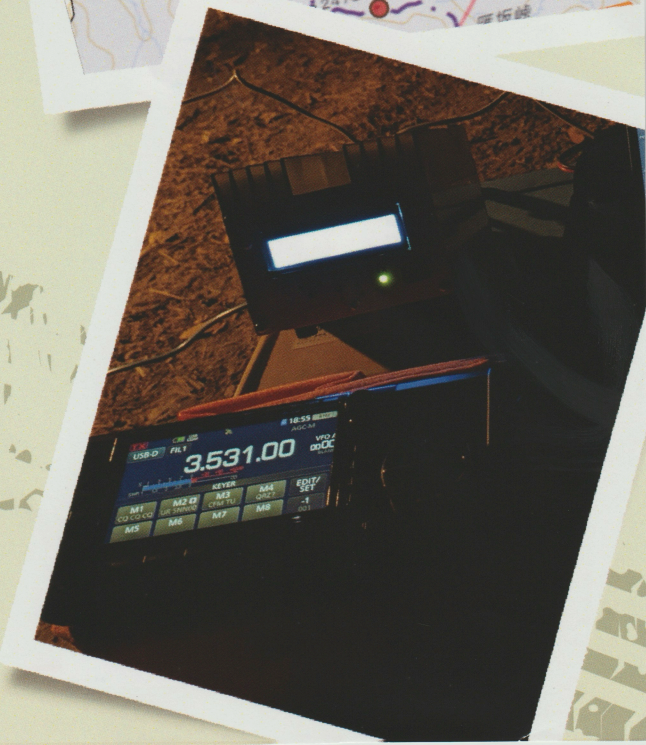
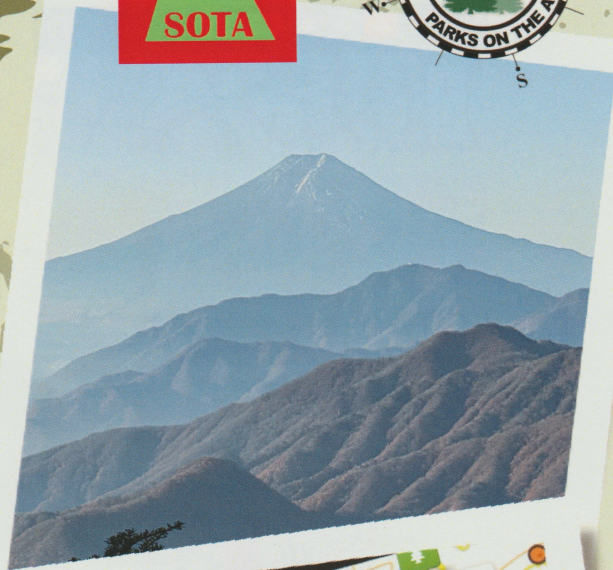


その他便利な機能

その他、ユーザの使い方に合わせて地図表示をカスタマイズする機能や、SOTA Alertを登録してAPRSビーコンを送信すると地図上に現在位置を表示する機能、SOTA山頂到着時にAPRSでウェルカムメッセージを送る機能などがあります。

アクセスはこちら

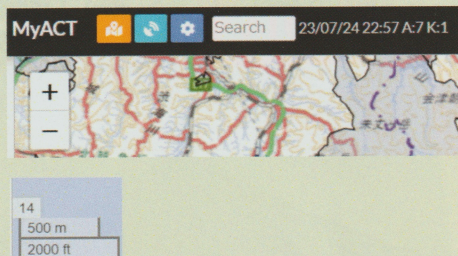
 myact.sotalive.net



MyACT Cheat sheet



地図の操作・機能アイコン



- マウスでドラッグすると地図が移動します。マウススクロール又は画面左上の矢印で、地図のズームイン・ズームアウトができます。画面左下にはズームレベルと縮尺が表示されます。
- オレンジの「地図アイコン」を押すとGPSで現在位置を計測しマーカを表示します。
- 水色の「アンテナアイコン」を押すとスポット表示画面が、水色の「設定アイコン」を押すと設定ダイアログが開きます。
- 検索窓に山名・公園名又はリファレンス番号の一部を入れると、データベースを全文検索し候補を表示します。
- 現在の日付・時刻・A値・K値が表示されます。



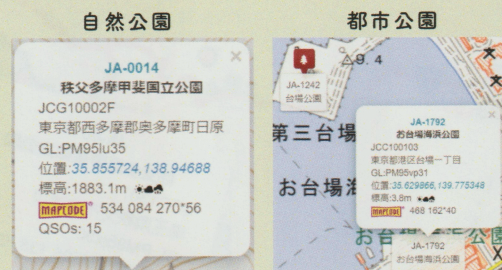
SOTAサミットの表示



- 山頂の丸いマーカをクリックするとサミットの詳細情報が表示されます。
- リファレンス番号・英文サミット名は公式サイトへのリンクになっています。
- 和文名称、標高、ポイント（ウインターボーナス）を表示します。
- 標高の横の「雲アイコン」は山頂の天気予報Windy.comへのリンクです。
- グリッドロケータ・山頂が属する地名・JCC/JCGコードが表示されます。
- サミットのアクティベーション回数、最新のアクティベーション情報が表示されます。
- 山頂を中心に赤く塗られた領域は、山頂からの標高差が25m以内の「アクティベーションゾーン」を表します。この領域内でのアクティベーションが有効です。



POTA公園の表示



- 地図上で薄い青色の領域は自然公園です。クリックした箇所の詳細な公園情報が表示されます。都市公園の詳細情報はマーカーをクリックしてください。
- 公園番号は公式サイトへのリンクとなっています。
- その他の情報はSOTAサミットの詳細表示と同様です。
- 経度緯度表示をクリックすると国土地理院地図又はGoogleマップで同じ場所を開きます。
- マップコードをカーナビに入力して目的地を指定することができます。
- ログがアップロードされていると、アクティベーションした回数、又はハンターとしてQSOした回数が表示されます。設定画面でアクティベータログ・ハンターログのいずれかを表示するか選択することができます。
- アクティベーション済み・ハンター済みの公園は赤色（複数の県にまたがる公園はオレンジ色）のマーカーで表示されます。



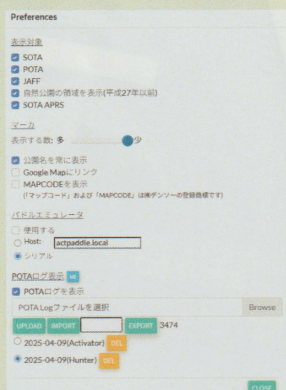
スポット表示



- スポット表示画面を開くとスポットの時系列が表示されます。
- プルダウンで表示するアワードと期間を選びます。時系列の●にマウスを重ねるとスポットされた時間、コールサイン、周波数、モードが表示されます。
- スポットを表示中、スポットされた場所にマップがズームインします。
- ハンターログがアップロードされていると、未交信の公園は大きく●が表示されます。
- 「By Callsign」をチェックするとコールサイン順で表示されます。



設定画面



POTA.appログダウンロード画面



- 選択したアワードプログラムのサミット/公園/APRS位置情報が地図に表示されます。
- 山頂の標高や公園の面積を使ってズームレベルで表示を変えています。通常は「表示する数」少なめ（ズームレベル11から12で全て表示）に設定すると見やすくなります。都市公園が密集する地域は「公園名を常に表示」をオフにしてみてください。
- 「Googleマップと連携」にチェックするとマーカーの緯度・経度部分をクリックすると同じ場所をGoogleMapで開きます。ストリートビューや衛星写真で実際の場所を確認できます。
- 「マップコードを表示」をチェックするとクリックした箇所のマップコードが表示されます。GoogleMapと連携して駐車場などを探し、マップコードでカーナビの目的地を設定できます。
- POTA.appサイトからダウンロード（メニュー-「MyStats」→「Activated Parks」「Hunted Parks」にある「Export CSV」ボタン）した、アクティベーションログ・ハンターログのCSVファイルを選び「UPLOAD」でアップロードできます。
- スマホでも同じログを確認したい場合は、次の手順でインポートしてください。①アップロードしたブラウザで「EXPORT」ボタンを押す②6桁の数字が表示されるのでスマホのブラウザで数字を入力し「IMPORT」ボタンを押す。